

= 資料館だより =

八代家住宅と明野の文化財ツアー

10月30日(日)、八代家と明野町内の文化財を巡るバスツアーが行われました。計64名の参加者は、北杜市教育委員会の担当者や、旧明野村文化財審議委員の案内で国指定重要文化財八代家や、市指定文化財かさ守地蔵尊などをまわりました。

明野町浅尾新田 浄居寺



明野町上手 かさ守地蔵



地元で暮らす人にとっては、昔から身近に慣れ親しんでいたこれらの文化財ですが、こうして詳しい解説を聞きながら巡ってみると新たな発見や驚きも感じられたようです。神社の歴史や道祖神について説明する地元会員さんの声にも熱がはいり、参加者の方々も熱心に耳を傾けていました。歴史ある文化財を18ヶ所もめぐり、充実した一日となりました。参加された皆さん、またご協力いただいた会員さん大変おつかれさまでした。

コラム

幕末事件簿 ~ 「真田真幸」の实体とは?! 甲斐の民家のハプニング~

かやぶんかわら版第6号にてご紹介した、八代家住宅隠居屋の柱から発見された墨書。それを記した真田真幸という人物は、ちょっとした騒動を八代家にもたらしていました。八代家文書から明らかになった真田真幸の人物像とは -。

真田真幸は信濃国須坂の生まれで歳は25, 6歳、優秀な人材で武士として真田家に仕えていましたが、殺傷事件を起こして甲斐国へ逃れ、浪人となって八代家に住み着いてしまいます。八代家滞在中、真幸は甲府城の勤番たちと親しくなります。ところが時代は慶応4年、まさに明治維新の最中。古文書が書かれた時には甲府城はすでに幕府の手を離れ官軍へ渡っていました。さあ八代家としては大問題です。徳川幕府(甲府城)と通じた人間を屋敷内に住まわせているのですから。咎めを恐れた八代家が、真幸を内密のうちに信濃へ帰そうとして書いた手紙が、この古文書だったのです。日本の歴史を大きく変えた幕末の政治情勢が、この小さな村の民家にも波及し緊急事態を招いた……この古文書は、そんなアンバランスさと、時代に適応しながら力強く生きようとした八代家の姿を、現代の私たちに語りかけています。



「真田真幸」について記された八代家文書

= イベントの報告 =

縄文遺跡へGO！縄文人になってみよう

10月22日(土)と11月12日(土)に、明野町梅之木遺跡で縄文体験イベントが行われました。10月の第1回目には勾玉&縄文石蒸し料理作りを行いました。自分で原石から削りだした勾玉で作ったネックレスは大人気！ほお葉でくるんだ石蒸し料理も大好評でした。



石蒸し料理に舌鼓



勾玉作り真っ最中！

11月に行われた第2回目では、火おこし体験を行い、パンを焼きました。また熱した石を使った縄文焼き肉料理を作りました。火おこしにはちょっと苦戦していた子ども達、縄文人の大変さを実感していたようです。



ひもずり式の火おこし



縄文パンを持ってパチリ！

= イベントのお知らせ =

ちゃきちゃき子どもクラブ(かやぶん子どもクラブ)

対象：北杜市内の小学生

参加費：1回500円

12月の予定(時間は午後5時~7時です)

2日(金)最終回・茶道茶碗を作ろう！

6日(火)手話で歌を歌ってみよう

9日(金)民族楽器、ジャンベに挑戦！

14日(水)お楽しみ教室

16日(金)お神楽教室

20日(火)茶道教室・冬こそ抹茶！

21日(水)お正月飾りを作ろう！

ボランティアさん募集

青少年の育成に熱意のある方を募集しています。

もうすぐ本番！獅子舞教室

12月の練習は8日と22日(木)です。

時間：午後7時30分~9時

場所：北杜市埋蔵文化財センター

= 会員募集 =

~茅ヶ岳歴史文化研究所の活動に

あなたの力をかしてください~

こんなことをやってみたい！

歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
イベントを通じてさまざまな人と交流したい
茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円

年会費 5,000円

= 新規会員さん紹介 =

小林光男さん(甲府市)

どうぞよろしくお願いします。

= ご寄付 =

資料館日直の会員様からそれぞれご寄付をいただきました。ありがとうございました。

合計11,000円(10月16日~11月15日分)

= 編集後記 =

掃いても掃いても落ちてくる、色づいた葉に秋の深まりを感じます。日暮れが早く気温もぐっと下がり、いよいよ寒くなりますが、これからは浅尾大根のおいしい季節でもあります。

やはり大根は明野！！ですね。

かやぶんかわら版 第8号

平成17年11月15日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所

〒407-0204 北杜市明野町上手8310

明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019

ホームページ <http://www.kaya-net.jp>